

令和4年7月5日

記者会、記者クラブ 各位

国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム) 学生の来日・渡航を再開しました

岐阜大学は、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、令和元年度に海外協定大学のインド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム)を開設しました。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響で留学生の受け入れ・派遣が困難であり、代替としてオンライン・オンデマンドでの指導を行うケースもありましたが、今年度より本格的に受け入れ・派遣を再開しました。現在、連携大学から9名の修士・博士課程の学生が来日し、本学での研究生生活を開始しています。また4専攻のうち「自然科学技術研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻（修士課程）」の日本側学生1名は、7月中旬からのIITG渡航に向けて準備を進めています。

このたび、本プログラムにより来日した留学生と海外渡航を控えた日本側学生が、本学の吉田和弘学長に対して、国際連携専攻へ入学したきっかけや、ようやく可能となった留学生活への意気込み、自身の研究活動等について報告します。

については、当日の取材について、よろしくお願いします。

記

日時： 令和4年7月7日（木）11:00－12:00

場所： 岐阜大学本部4階 大会議室

（4階廊下へご集合ください）

<当日の参加者>

- ・国際連携専攻学生 10名（自然科学技術研究科、工学研究科および連合農学研究科）
- ・吉田 和弘（学長）
- ・植松 美彦（グローバル推進機構長）
- ・海老原 章郎（国際連携食品科学技術専攻（調整担当））
- ・柳瀬 笑子（国際連携食品科学技術専攻（調整担当））
- ・久米 徹二（国際連携統合機械工学専攻（調整担当））
- ・リム リーワ（国際連携材料科学工学専攻（調整担当））
- ・沓水 祥一（国際連携材料科学工学専攻）
- ・小林 信介（国際連携統合機械工学専攻）
- ・北野 信哉（グローバル推進機構国際事業課長）

問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

グローバル推進機構国際総務室（担当：宮本）

TEL：058-293-3351

E-mail：gjai05001@jim.gifu-u.ac.jp